

平成22年度 熊本博物館 特別展

よみがえる清正

— 戦国武将・加藤清正への祈り —



横矢旗「豊臣秀吉九州征伐の図」(熊本博物館蔵)

せいしんこうのしんじゆ
清正公信仰とは何か
四〇〇年の歴史を辿る

平成22年(2010)

7月17日(土)

▶ 8月29日(日)

開館時間：午前9時～午後5時 (入場は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

入場料：大人・高校生 300円 / 小・中学生 100円

主催：熊本市立熊本博物館

後援：熊本市立熊本博物館
熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・熊本放送
テレビ熊本・くまもと県民テレビ・熊本朝日放送
エフエム熊本・FM791

特別講演会

場所：熊本博物館 2階研修室
費用：博物館入場料のみ
時間：14:00～15:30

● 7月24日(土)

「最新の加藤清正研究を語る」

講師：吉村豊雄氏(熊本大学文学部教授)

● 8月7日(土)

「加藤清正公と本妙寺」

講師：池上正示氏(本妙寺副住職)

● 8月21日(土)

「神になった清正公 —加藤神社の創建とその変遷—」

講師：湯田榮弘氏(加藤神社宮司)

お問い合わせ 熊本市立 熊本博物館

〒860-0007 熊本市古京町3-2
TEL: 096-324-3500 FAX: 096-351-4257
<http://webkoukai-server.kumamoto-kmm.ed.jp/>

せいしよこうしんこう
清正公信仰
400年の歴史

菅原道真、平将門、豊臣秀吉、徳川家康・・・
 日本の歴史上実在した人物が神格化されて、今なお
 人々の信仰の対象とされています。熊本の町づくりの
 基礎を築いた戦国武将・加藤清正もその一人です。

城づくりや虎退治など、その政治手腕や勇猛さからエピソードに事欠かない加藤清正は、彼の死後、「清正公信仰」（せいしよこうしんこう）として人々に祀られ、江戸時代後半には日本中に流布しました。熊本では、親しみを込めて「せいしよこさん」と二重の敬称をつけて呼ばれています。

一国の大名に過ぎなかった彼が、なぜそれほどまでに人々の信仰を集めたのでしょうか。人々はどのような祈りを彼に込めたのでしょうか。

加藤清正没後 400 年を迎える今、本展示会では、加藤清正生前の業績だけではなく、彼の死後における人々との関わりに焦点を当て、「清正公信仰」とは何かに迫ります。



【交通のご案内】

- バス** 交通センターまたは市役所前下車、徒歩 20 分
 熊本城周遊バス（交通センター 6 番のりば）で
 博物館・旧細川刑部邸下車
- 市電** 杉塘または段山町下車、徒歩 8 分
- お車** 博物館専用駐車場はありません
 三の丸有料駐車場をご利用下さい

**熊本市立
 熊本博物館**

〒860-0007 熊本市古京町 3-2
 TEL : 096-324-3500 FAX : 096-351-4257
<http://webkoukai-server.kumamoto-kmm.ed.jp/>
 mail : hakubutsukan@city.kumamoto.lg.jp

熊本博物館

検索



長島帽子形兜の折り方もココでチェック！

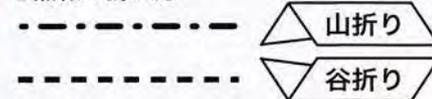
**アクセス
 マップ**



きよまさこう かぶと お
清正公の兜を折ってみよう

- ① を点線に沿って切り取る
- ② から ⑨ を番号順に折る
- 最後の ⑨ は兜の中へ入れ込む

● 点線の折り方



完成図

博物館のホームページで折紙の詳しい折り方がご覧になれます